

顕微授精(IVF)効率化画像アルゴリズムの検討における検証研究のため  
画像データの当院以外への提供について

みなとみらい夢クリニック

(ご案内)

近年の少子化、晩婚化により生殖医療(ART)の重要性が高まっており、発生率の向上やARTフローの効率化が求められています。これまで顕微授精(IVF)の過程では紡錘体の有無や位置を確認することで受精、胚発生能を向上させることが知られております。また、精子をインジェクションする際、卵膜の穿刺位置を工夫することにより受精、胚発生能を向上させることが広く知られています。

現状では、紡錘体観察において光学調整が必要な手法であり煩雑さを伴うため、胚培養士の技術・経験に依存していますが、近年の技術革新によりAIを用いて目視では確認しにくい位置や形状の特定や画像解析アルゴリズムにより対象とする物体の特長を画像より解析することが可能となりつつあります。

それらの技術を顕微授精に応用することでより効率的且つ効果的な生殖補助医療が可能となる顕微授精の遂行過程において、偏光観察にて紡錘体位置の確認時に画像(偏光観察画像、ホフマン観察画像)を取得し、画像解析によりホフマン画像から偏光観察で確認できる紡錘体位置の同定が可能か検証するための研究を当院と株式会社ニコンとの共同で実施いたします。研究のために患者さま個人を特定することのできる情報(氏名・ID等)を削除して画像データを院外の研究機関である株式会社ニコンへ提供いたします。なお、研究に関する質問等は【問い合わせ】までお願い致します。

研究の成果により、受精・胚発生効率の向上が期待できることから、皆さまのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

【問い合わせ】

みなとみらい夢クリニック

TEL : 045-228-3131 (代表)

研究代表者 家田祥子